

仏教企画通信

発行日 | 令和7年3月1日

発行所 | 有限会社 仏教企画
〒252-0116
神奈川県相模原市緑区城山4-2-5
Tel. 042-703-8641
Fax. 042-782-5117
発行人 | 有限会社 仏教企画代表 藤木隆直
編集 | 加藤順子
Email | fujiki@water.ocn.ne.jp

伝来した中国の仏教

誰もが知っているように、
仏教は北インドで誕生した宗教である。ところが伝播していく過程では、それぞれの地域で独自の仏教が生まれていった。もちろんそれらには共通性もあるけれど、キリスト教やイスラム教のような世界宗教としての統一性は極めて薄い。

日本には500年代前半に仏教がもたらされているが、その仏教は中国で再創造された、いわば中国仏教とでもいうようなものだった。中国仏教は一方では儒教と融合して国家護持の仏教として定着した。儒教には国家、国王が存在してこそ、社会も人々の暮らしも成立するという考え方があり、この宗教では国家護持が中心の課題になる。この役割を仏教も内蔵する。また中国仏教は定着した。他方で中国仏教は道教とも融合した。道教は清貧に暮らし、自然とともに生きることに、仙人になることに理想をみい

仏教の 多様性を 考える

風土のなかで生きる
民衆の仏教
内山 節

だす考え方をもっている。仙人になることができれば、いわば超能力を獲得して、病気を治したり社会から厄災を取り除くこともできる。道教は病氣治癒に漢方薬を用いることも多かったが、災難をとりぬくために邪気を払う「祈禱」、呪術もおこなう。ゆえに道教と融合することによって、中国仏教は国家護持の「祈禱」、呪術だけではなく、病氣治癒や厄災除去のための「祈禱」、呪術もおこなうよう

になった。
この仏教が日本の古代政権の元に伝えられたのである。ゆえに古代の権力者たちにとっては、仏教は呪術的な力をもつ国家護持の宗教であり、同時に自分たちの病気を治したり、自然災害や疫病の流行から社会を守る呪術的な力をもつ宗教として受け入れられた。500年代前半に公式に仏教が伝来したとよく言われるが、それは公権力に伝来したということであって、公式の「正しい」仏教が伝来したというわけではない。伝来したのは中国仏教だった。もちろん、その中国でも、「正しい」仏教を学び深めようとする人々は存在していた。たとえば玄奘三蔵(602-664年)はインドに渡って多くの経典を集め、帰国後にそれらを漢訳しながら、大乘仏教の核心的思想だといっても

よい法相教学の確立に努めている。日本からも道昭が遣唐使として中国に渡り、玄奘から直接法相教学を学んで帰国している。
しかし、そのような研鑽を内在させながらも、中国仏教は儒教、道教と習合しながら、中国特有の仏教として定着した。

調和する仏教

仏教にはこのような変容がたえず発生している。アシヨカ王の時代にスリランカに伝わり、その後南アジアに広がっていく南伝仏教と、大乘仏教として広がった北伝仏教とは多くの相違があるし、大乘仏教でもチベット仏教、中国仏教、朝鮮仏教、日本仏教、ベトナム仏教はそれぞれが独自の展開を遂げている。日本では葬儀や法事が僧侶の大事な役割として定着したが、仏教経典を讀んでもそこに仏教の役割があるような記述はどこにもない。経典原理主義の立場に立てば、日本の仏教もまた「逸脱した」仏教として日本化されたのである。

ただし私はこのようなことを批判しようとして、いま述べているのではない。逆に、そのことなかにかこそ仏教の本質があると考えているのである。
神をもつ宗教は、この世界は神が創ったものだとか教える。だから、神の教えに従うのが正しい生き方なのだ。ところが仏教は創造主をもたない。

そればかりか誰もが悟りを開き、仏になることができるのだと教える。もちろん、南伝仏教では悟りを開くためには出家して娑婆との関係を断たなければならず、娑婆の身のままでも誰かが悟りの世界に開けると考える大乘仏教の間には開きがあるけれど、それでも誰にも仏の道を歩む可能性があるとことに変わりはない。

すなわち神が主体なのではなく、「我々」が主体なのである。そしてこの「我々」は、現実の世界のなかで生きていく。風土、歴史、文化、日々の営みなどが結び合っている。「我々」としては唯一無二の世界のなかで生きていくのである。

このことは、「我々」が生きている世界と調和する仏教を、さまざまな場所で生みだすことになった。日本に伝わり、しかも民衆の信仰として定着すると、民衆がもつていた自然信仰や祖先供養、死者供養の信仰と習合し、日本仏教を成立させることになった。その風土の信仰に合わせた仏教として再創造される。このことをとおして民衆の宗教になつていくところに、仏教の本質があるといってもよい。
だから、たとえば中期密教は中国真言宗の密教を学ぶかたちで導入されたが、現在密教を存在させているのは日本とチベットだけである。中国の密教は道教に吸収されるかたちで消えている。日本の密教が生き残ったのは、日本人々の伝統的な自然信仰と結

多様な民衆の仏教へ

びつき、また修験道ともつながることによって、日本の風土とともに展開する密教を展開させたからであろう。チベットでは独特の輪廻転生観をもつチベットの人々と一体化することによって、独自のチベット密教をつくりだした。その思想は大きく異なるのだが、その相違を問題視する必要はないだろう。なぜなら共通の経典をもちながらも、宗教として定着したときには、その風土のなかで生きる人々の仏教として再創造されている。それが仏教だからである。

20年ほど前、私はフランスの地中海に近い高原地帯に滞在していたときがあった。主に羊を飼う酪農地帯で、小さな村々が点在している。ある日のこと、村人が数人集まって立ち話をしていた。「今年こそみんなで聖地を訪れたいね」、そんな会話が聞こえてきた。私が近くにいたので聞いて、村人が私を話の輪に入れてくれた。「聖地ってどこに行くの。ローマ?」そう聞くと村人たちはゲラゲラ笑い出し、「なんであんなところに行かなければならないんです」と言った。フランスはカトリックの国だから私はそう言ったのだけれど、村人の反応を見てこの辺りは昔、キリスト教アルビジョア派の強い地域だったことを思い出した。確か16世紀くらいだった

と違うが、ローマ法王はアルビジオア派を異端と認定し、各国に十字軍の派遣を命じた。キリスト教では異端は火あぶりである。このとき焼き殺された人たちは、5万人とも20万人ともいわれている。大量虐殺がおこなわれ、この地域はパリの政権に併合されることになった。こうしてこの地はフランスになった歴史をもっているのである。村人たちが行きたい聖地はローマではなく、スペインの巡礼の道だった。

③天神堂
低地を越えた飛地である菅谷不動堂の真後に、これも古くから建っていたもの。昭和8年に「天神堂奉祀さる」と原本未詳の記録がある。総代

②井戸館
こちらにも古く、井戸の左側にあり、解体した時に「嘉永」と書いた板切(棟銘)があったから、当時すでに100年以上を経ている。(拙著「沼南の宗教文化誌」90頁参照)。

①庫裡
庫裡は⑥の本堂と共に、寺の再中興和尚である象山湛龍代に苦心惨憺の末に享保18(1733)年から同19年にかけて再興した古建築であった。令和の今日までではなく、290年を経ているから、すでに昭和時代でも古く老朽して使用に耐え難く、何度も檀家の会合に話を出していたのが漸く功を奏しての改修。



天神堂 改築 1977年7月25日

―世話人を通して地元檀家に勸化帳を廻し、低額であった為に直ぐ集金され、昭和52(1977)年7月25日、遷座式を挙行。因みに大工は落合新蔵(重好の父)。天神は学問振興の神であるから、習字や漢字に尽力した二十九世大由が、この堂宇を建て、本堂内部とともに両所に奉祀したと思いきや、基礎工事をした時地下から「太子宮」その他の石塔が出土しているから、この天神堂の歴史はより古いようである。古い書付の二十六世隠山(謙之和尚の欄に「待道堂天神堂」とあるから、この様々な功勞を遺した隠山さんの時代に創建されたものと見られる。建物内部は9尺四方を二分し、左側に天満宮が安置され、香燭が供えられるようにしただけの至って質素な堂宇である。菅谷不動は昭和29年に全焼しているから、この天神堂の記録もその際に失われたのであろう。昔、正月25日にはお団子が沢山供えられていた。

―世話人を通して地元檀家に勸化帳を廻し、低額であった為に直ぐ集金され、昭和52(1977)年7月25日、遷座式を挙行。因みに大工は落合新蔵(重好の父)。天神は学問振興の神であるから、習字や漢字に尽力した二十九世大由が、この堂宇を建て、本堂内部とともに両所に奉祀したと思いきや、基礎工事をした時地下から「太子宮」その他の石塔が出土しているから、この天神堂の歴史はより古いようである。古い書付の二十六世隠山(謙之和尚の欄に「待道堂天神堂」とあるから、この様々な功勞を遺した隠山さんの時代に創建されたものと見られる。建物内部は9尺四方を二分し、左側に天満宮が安置され、香燭が供えられるようにしただけの至って質素な堂宇である。菅谷不動は昭和29年に全焼しているから、この天神堂の記録もその際に失われたのであろう。昔、正月25日にはお団子が沢山供えられていた。

⑥本堂
元は①で述べた庫裡と同時期一連の建物で、木造萱葺き。庫裡とは鉤の手の形に繋がっていた。毎年のように萱の葺き替えをせねばならず、その維持管理は大変であった。幾度となく役員会を開いた結果、

⑤客殿
檀信徒の法事の際の控所・休憩室として建立したものであり、別にお庭らしいお庭もなく、立派なトイレがあるわけではない。でもトイレは必要であるから、本堂への登り口に一応洋式のもの付設してはいるが、男性用3、女性用2だけの小さなもの。登り口といったように、本堂と高低差が3尺ほどあり、この階段用の木材は、昔から「開山松」と称していた樹齢何百年かの黒松が数年前に枯死しており、その中間部分を何かに利用すべく保管してあったものを用いた。故に、これは厚みも巾も立派である。この松材を階段と、本尊背後の位牌堂上部に用いたから、開山様もきつとお喜びであろう。

④庫裡
こちらは木造瓦葺きで①の改修。六間×四間で全て和風壁は泥土に小舞をかけて白い漆喰を上塗りした古風な造りだから壁の厚みは30cmもある頑丈なもの。私は永年居住していたが、例の3・11の大揺れでもビクともしなかった。今は次のご住職が居住している。本尊には珍しく毘沙門天を祀っている。

漸く昭和末年の「バブル経済」の時期到来により、真山の先方約8反部(約2400坪)の売却金約1億2千万を基金に檀信徒約250戸からの寄附金約6千万円などにより、一応従前とは比較にならない立派な銅板葺きの本堂が完成した。当時は入金を預金しておくと、すぐに何十万も利息がつく時代で、今日では考えられない金員の動向であった。建設委員は総員22名(地元20遠方2)、委員長は総代の旧家である長妻量平氏、設計士は



椎名宏雄 新建成った本堂の前で(石井紋四郎氏より) 1986(昭和61)年1月5日

⑦観音堂(大悲殿)
正面額に二十九世大由が大正頃(多分、大正5年)に揮毫した「大悲殿」の能筆がある。で、地元でも両様に呼称している。この堂宇には、昔、松戸の椎橋利助という石工の名工が、秩父、西国、坂東の各三十三観音、計百観音とその他の石仏計120体を彫造して奉ったもので、県下では他に例がないといわれる。造立主は二十五世正珠鉄眼で、当時は火防からの発願であり、近在24カ村の有力者による造立であった。(拙著「沼南の宗教文化誌」41頁以下参照)。老朽したので堂宇の改修を企り、檀信徒や参禅会員有志など300名以上の方から約3千万円の寄進により和装に改修し、平成4年に落慶入仏となった。なお本堂と離れていては不便なので、直後に渡り廊下を付

松戸市の中村認雄氏、施工は東京の有井建設。5社の入札により有井建設が決まったがこの業者は明治神宮のお抱え業者的な立場にあり、明治神宮の多くの建造物を手掛けた。建築工事は昭和56年から始まり、現坐禅堂付近に飯場を設け、大勢の大工・高木たちが2年近く泊まり込みで業務に当たった。土木工事から加工・組立・造作すべてを同会社の人々の協力で仕上げた。上棟には揃いの法被を着用し、諸儀式を如法の如く行い、建

造物の上には高く上屋を掛けて、完工するまでは徒に立ち入りできなかった。故に昭和57年の盆飯餓鬼は当山始まって以来、前庭に天幕を巡らして行い、無事に完遂できた。その梗概は本堂前に立つ「殿堂建立記念碑」に詳しい他、16mmフィルム、各種の写真や諸道具・記録類はすべて宝蔵内に保存されている。寺号額は時の永平寺貫首、奏慧玉禪師に書いて頂いた。昭和57年3月の完成引渡しであった。なお、この約250年ぶりの本堂完工を機として、火災保険・火災報知機の設置を本堂・客殿・観音堂などに施し、災害に備えた。

「我々」が仏になる主体として位置づけられている思想がある。「我々」が主体の信仰である以上、「我々」の多様性を認めるほかない。

仏教にはたえず二つの世界が併存しているのである。一つは仏教思想をより深くとらえていこうとする仏教。この仏教は学僧の仏教といってもよいし、それは龍樹や世親、さらには各宗門の開祖などを

生みだしてきた。ところが仏教にはもうひとつの仏教がある。それは教義ではなく、自分たちの生きる世界で得心できるような仏教である。そこに民衆仏教の定着があり、それはそれぞれの生きる世界で多様に展開する。しかもこの民衆としての「我々」こそが仏になる主体だと考えるのが仏教思想である以上、学僧の仏教もまた民衆仏教が成立しうる根拠を提示していかなければならなかった。とりわけ大乘仏教においては、である。

内山 節(うちやまたかし)
哲学者。1970年代から東京と群馬県上野村の二拠点生活。元立教大学21世紀社会デザイン研究科教授。近著に『内山節著作集』(全15巻、農文協)『半市場経済成長だけでない「共創社会」の時代』(角川新書)他多数。



「我々」なのである。仏教は神のような唯一の真理をもたず、すべての生類が成仏する思想として成立した。そしてそれがゆえに多様な仏教の世界を生み、自分とは異なる仏教を認める信仰世界をつくりだした。それは本質的に平和を内蔵させた信仰だった。

私の先師は富山県の寒村生まれであった。まだ元氣であった頃、よく「富山はなあ、田舎なもんで、寺はみんな小さくて、尼さんが多かったが、皆こまめによく働いておったぞ」と口癖のようにいっていた。確かに宗門の『寺院名鑑』で見ると、誠に失礼ではあるが、富山県は概して級階は低く、準法地の割合は高い。近年まで尼僧堂が置かれていたのも宜なるかなと思わせるものがある。だが、かかる地域こそ、日常は行持綿密に努め、地元の地域住民からは広く深い信奉を集めていたのが、また宗門の持つ素晴らしい長所であった。

富山に縁の深い駒大某教授が、「富山の宗門は真宗のおこぼれを頂戴しているのさ」といっていたが、なるほど真

宗寺院も数が多いが、多くの小ぶりの寺々が多面的に活動している状況を知れば、「おこぼれ」どころではなく、宗派を越えて長所を範とし合い、互いに良い点を協力し合い、共存共栄をはかっていたのかも知れない。

また地形的には、田、畑、山林のみが続く平坦地であり、高山も深川も皆無で肥沃な土壌に恵まれ、北側の手賀沼方面から幾条かの細谷津と小さな流れが入り込んだ、変化のない地形である。このような地理の中に、龍泉院は境内地

貧寺で二十棟も建てた経緯

前編

千葉県柏市 龍泉院東堂
椎名宏雄

まず、私が63年間住職をしていた旧沼南町の町勢を述べておく。町はずでに合併して消えたが、平成17年3月に柏市と合併する以前は、面積約100km²、人口4万8千人で発展途上にあった。ただ龍泉院の居住地は鉄道からは遠く、交通は一日に1、2本の路線バスがあるのみで、利用者は高校生ぐらいまでの児童生徒と病院通いの高齢者がほとんど。

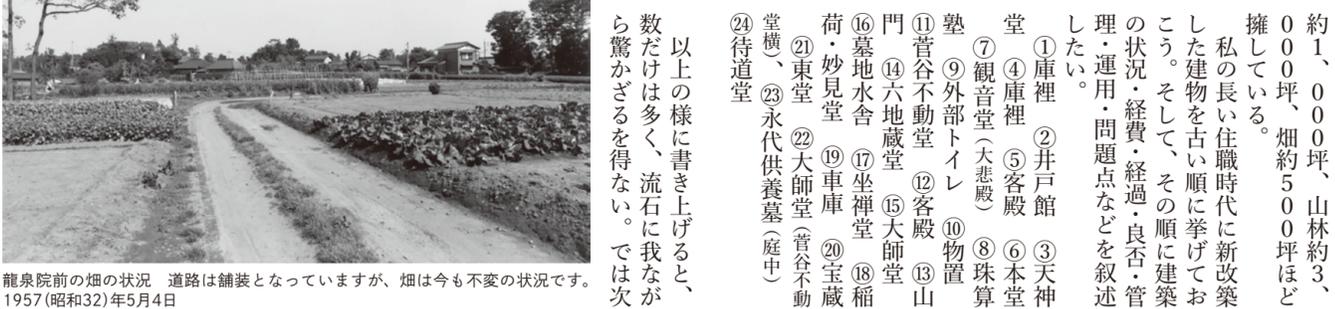
若者と壮年までの人達は、4、5km離れた国道まで出れば、大都会さながらの大商店・ホテル・病院ありなので、車の運転だけでバスなどは利用しない。だから高齢者で昔からの住民が細々と田畑を耕作しているという、全国的に少子高齢化で農村村疲弊の典型的状況が龍泉院の客観的な背景であった。

約1、000坪、山林約3、000坪、畑約500坪ほど擁している。私の長い住職時代に新築した建物を古い順に挙げておこう。そして、その順に建築の状況・経費・経過・良否・管理・運用・問題点などを叙述したい。

①庫裡 ②井戸館 ③天神堂 ④庫裡 ⑤客殿 ⑥本堂 ⑦観音堂(大悲殿) ⑧珠算塾 ⑨外部トイレ ⑩物置 ⑪菅谷不動堂 ⑫客殿 ⑬山門 ⑭六地藏堂 ⑮大師堂 ⑯墓地水舎 ⑰坐禅堂 ⑱稲荷・妙見堂 ⑲車庫 ⑳宝蔵 ㉑東堂 ㉒大師堂(菅谷不動堂横) ㉓永代供養墓(庭中) ㉔待道堂

以上の様に書き上げると、数だけは多く、流石に我ながら驚かざるを得ない。では次に

龍泉院前の畑の状況 道路は舗装となっていますが、畑は今も不変の状況です。1957(昭和32)年5月4日



龍泉院前の畑の状況 道路は舗装となっていますが、畑は今も不変の状況です。1957(昭和32)年5月4日

私が般若心経に初めて触れたのは、まだ幼い頃でした。家族は仏教に深い信仰を持っていただけではありませんが、法事の度にその読経が響くと、心の奥深くにそこはかとない安寧を覚えました。ご住職の口から、低い声で発せられるそのお経の音韻がなんとも不思議な呪文のように感じられ、意味もわからないまま、親族一同で「般若心経」を口ずさんだものです。私はその響きの陰にこもったような美しい調べに魅了されていました。しかし、当時の私にとって、それは単なる儀式の一部であり、その深い意味を理解するには程遠いものでした。

それから数十年が過ぎ、社会人になって何年か経つと、自分自身の大きな戦いを経験することになりました。強迫神経症——その病名を知ることから、私はこの病に苦しんでいました。特に、世の中の「汚れ」に対する過剰な意識は、

私の日常を支配していました。不衛生な環境に対する嫌悪感、感染症への強い恐怖心。そして、それを回避するために繰り返す手洗いや除菌。清潔でありたいという願望が、いつしか恐怖へと変貌して、私の行動を縛る鎖となっていました。

「不垢不浄」、つまり「汚れもなく、清らかでもない」という教え。この言葉が私の胸に深く刺さりました。汚れも清らかさも、人間が勝手に意味付けしたものであり、実際にはそのような二元論的な区別は存在しない。すべては空つまり実体を持たないものだというのです。

この考えに触れたとき、私の中で何かが訪れました。清潔への執着、それは自分自身を作り出した「汚れ」という幻想に縛られていたからにほかなりません。そして、その幻想を追い続ける限り、どれだけ手を洗っても、不安は消えなかったのです。

この気づきを経験した後、私はありとあらゆる般若心経の解説書を読み漁りました。いまでもその本質はまだまだ



「きれい」「きたない」などの思いは自分の心が作り出す幻影に過ぎない。病から解き放たれ、各地の旅を楽しむ著者。

「般若心経は私に「物事の本質を見なさい」と教えてくれました。自分が感じる不安や恐怖の根本には、自らの思い込みや価値観がある。それを取り除くことで、心は自由になれる」と。この気づきは、私にとってまさに光明のはじまりでした。

と来し方を振り返りました。般若心経は私の中で、ただの経典から、生き方そのものを示すものへと変わっていったのです。その教えがなければ、私は今でも強迫神経症に苦しみ、自分を責め続けていたかもしれません。

執筆一終懸(ひらきいこい) 一九六四年生まれ。筑波大学卒業後、出版社数社を経て独立。ライター兼編集者として書籍・雑誌の制作に携わっている。

不思議な響きを持つ般若心経

般若心経とともにひとりの信徒として

感染症への恐怖と手洗いの果てに

不垢不浄の意味との出会い

成長とともに味わう般若心経の深み

け、使用勝手を良くした。この時、⑤の本堂を建立した際の青森の材木商が僅か1千万円の予算で、すでに伐採制限となっていた「青森ヒバ」を送って下さった。これらの経緯も諸記録が宝蔵中に保管されている。

◎珠算塾

ほとんど拙妻の功勞によつて成ったような建築物である。拙妻は昭和42年4月に当山へ嫁して来たが、婚礼の時に「もと三井銀行の行員で珠算は1級」という披露を聞き知った近所の児童が、その翌日から「珠算を教えてくれ」とゾロゾロやって来た。止むをえず当時は享保の古本堂に次々と蛍光灯を増やして使っていたが、やがて数十名ともなると、机やトイレに困り果てて、遂に庫裡の背後に2階建瓦葺きの建物を新築した。間口8間、奥行6間の大きなもので、そこにトイレと玄関も付設した。大工は地元石井某。経費は私の管轄外であるから明確ではない。寄付などは一銭も受けず、家内はさぞかし身をつたことであろう。

一階の教場には、細長い昔式の飯台を置き、壁面は書棚として児童書を満載させた。子供好きな拙妻は、塾の方は特訓に特訓、児童書は読み教えを常にしていたから、多い時には100名もの児童で溢れていた。帰りのバスがなくなつた子は、二人で手分けして車で送り届けた。またこの教場は、後に観音堂を開いていた参禅会の提唱会場代わり

や、本堂が落慶し私の結婚。制集会の際は随喜寺院の控室にと多角的に用いられて役に立った。拙妻の努力で得た珠算関係の賞状・カップの類は、現在この塾中には所狭しと安置されている。塾の教え子は、もう孫持ちの年配者も居るが、皆が昔を懐かしんでいる。当時は最も喜んだのは親達であったが、学校の教員からも「社会福祉」の面までお世話になってと、何度も謝礼をいわれた。

◎外トイレ

以前から境内の諸方にあつたが、今回は観音堂の南側に9尺×2間のトタン葺きで簡素なものに改築。男2・女2の小さな建物で、石井造園業の施工であるから、排水は南側の低地まで太管を延長して自然排水。自治体でまだ給排水設備をしていないので止むを得ぬ措置だった。

(後半は、次号に掲載予定です)



椎名宏雄(しいなこうゆう) 龍泉院(千葉県柏市)前住職。駒澤大学大学院博士課程満期退学後、曹洞宗宗学研究所研究員、曹洞宗文化財調査委員、柏市文化財保護委員会会長、駒澤大学大学院非常勤講師等を兼務しながら一九五八年より龍泉院住職。『宋元版禅籍の研究』(大東出版社)、『やさしく読む参同契 宝鏡三昧』(大法輪閣)、『沼南町の宗教文化誌』(たけしま出版)など著書・共著とともに多数。

行政書士の笠井その美でございます。このたびは、東京都の永正寺様と福井県の日庭寺様の合併手続きを代行させていただきます。このような機会をいただきまして大変にありがたく感じしております。全国のお寺様で、同様のお手続きなどでお困りの方に何かお役立ていただければ幸いです。

永正寺様とは直接のご縁があったわけではありませんが、私の祖母が亡くなった際、供養にいらしていただいたご住職が曹洞宗の方で、私の母校である駒澤大学の先輩でした。その方から藤木ご住職とのご縁を繋いでいただいたのです。相模原市の日庭寺

という大仕事でしたが、とてもやりがいのあるご依頼でした。昨年の7月に文化庁からの認証を受けましたが、時間がかかり、なかなか大変な業務でした。同じ都道府県の中のご寺院様の合併ですと、その所在する都道府県の管轄ですが、今回は県をまたいだため管轄が文化庁となり、より複雑な業務で時間がかかってしまいました。

また、曹洞宗内部での提出書類も多数あり、やり取りに苦労いたしました。認証が出てからも不動産の名義変更などの必要があり、すべて完了したのは昨年末となりました。藤木ご住職からねぎらいのお言葉をいただいた時は本当にうれしく、感動いたしました。以上のように複雑な業務でしたが、合併手続きを滞りなく進めることができましたのは、藤木ご住職をはじめ、宗教学者の役員の皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。



行政書士がご寺院様とのご縁でできること

るのではないかと考え、大変に僣越ではございますが、自己紹介とともに合併手続きまでの経緯などを紹介させていただきます。

新都区西新宿で行政書士事務所を開業いたしました8年目となります。主に相続や遺言の作成、各種許認可に関するお手伝いなどを手掛けてお

様でのお地藏様祭り、永正寺様での写経・写仏教室、年末の餅つき大会などの行事に楽しく参加させていただいております。コロナ禍の前は、永正寺様で遺言セミナーを開催させていただきましたことでもあります。

今回は、東京都永正寺様と福井県日庭寺様の合併手続き

笠井行政書士事務所 行政書士 笠井その美 〒160-0023東京都新宿区西新宿7-10-17 新宿ダイカンプラザB館1002号 TEL.....03-6279-2476 FAX.....03-6279-2478 E-Mail...info@kasai-gyosei.com HP.....kasai-gyosei.com

「パラダイムシフト」という言葉があります。パラダイムシフトとは、ある分野や社会で長い間当たり前とされていた考え方や枠組み(パラダイム)が、画期的な発見や変化によって大きく覆され、新しい枠組みに変わることを指します。身近な例をいくつ挙げてみます。科学界なら、天動説から地動説への移行(天文学の基礎的な考え方が変わった)。技術なら、フィルムカメラからデジタルカメラ

過去のパラダイムシフトから学ぶこと

これは仏教活動についても同様ではないでしょうか。仏教は時代とともにその顔つきを変えてきました。それは時代の要請とっていいでしょう。

人間は「安定」を求めます。昨日と同じ環境や境遇を維持することに執着します。それは人間の本能のなせる技でしょう。

ところが人類の進化というのは、突然やってきた「異分子」によって、世界が大きく変化していくことで生じることが多いです。これを受け入れる人と、受け入れたくない人がいるのは当然かもしれません。しかし、いつまでも社会は同じ条件で動くとは限りません。政治、経済から介護、子育てまで、時代の変化に即した対応が必要になるのもまた事実です。

秋彼岸会、埼玉県曹源寺では書院を開放し、不定期で何かしらの展示を企画している。お彼岸のお参りで曹源寺を訪れる方々に「寺院」を場として提供する一方で、仏教や寺院の持つ豊かな歴史・文化にも触れてもらうことを企図している。

龍里墨展

日本の伝統文化を 活かす場所としての寺院

題字：曹源寺住職

当山では40年前より「秋の彼岸展」を開催しています。什物である書画や仏像等を展示して、お参りの際に鑑賞できるように参拝者に公開しています。当山所蔵のものだけでなく、知人の仏師や画家(洋画・日本画)、陶芸家や檀家などの方々にお借りして展示する場合もあります。

「龍」は草書体で筆を強く叩きつけ、恰も絵の如く表されています。他に小さく「日猷四海水」(龍に日々清らかな東西南北の水を献ず)・「家に壬癸神(水の神)在り」と書かれた軸もありました。

「龍」は古代より海を住処として水を自由自在に操り、十二支の中で唯一の架空の動物で、威厳や神秘性を備えた「聖獣」とされ、神通力で人間の災いを除き福をもたらすといわれています。現代でも洪水や干ばつ、山火事などの自然災害は後を絶ちません。



世田谷 豪徳寺22世 巨海東流(1780-1853)「龍」家(壬癸神)に壬癸神(水)の神=火防の言葉



書院玄関 龍墨展のポスター 「入口」は住職の揮毫

2024年の期間中には、干支に因み龍にまつわる掛軸などを展示。書院には、著名な僧による書や、味わい深い筆運びの文字、現代の職人の技が光る作品が所狭しと掲げられている。

今回展示した龍墨は、当山所蔵の江戸時代から現代までの30点ほどで、ほとんどが「火防」や「雨乞い」の御札として書かれたものです。



展示風景 床の間側より 写真中央、最奥にある書は「虎」の草書体(寅年に住職が揮毫)。虎は龍の対語である

※1 特に禅僧の記した筆跡をさす。書道の古典のような優美さや繊細さは異なり、その人の精神性を露わに写し、重厚さ、時には良く研がれた刃物のような鋭さを備えている書のこと。



龍のタペストリー(平成24年作成)。お装束の刺繍職人に依頼したものの



能登總持寺独住3世 西有穂山(1821-1910)。「龍」に日々四海の水を献ず



永平寺77世 丹羽藤芳「龍天白山護法善神」。修行僧の守り神(龍天軸)



大雄山最乗寺360世 活山大愚「龍」(一字)。昇り龍のイメージ



越後大栄寺13世 無学絶宗(1709-1795)「龍」。絶宗の墨跡は火防の効果があると信ぜられ多くの人に尊重された

変化こそが世界を変えていく

「安定」を求める人間、「変化」を求める「世界」

ラへの転換(写真撮影の方法と産業構造が変わった)。社会的に言えば、インターネットの普及による情報流通の革命(情報入手方法やビジネスモデルが激変。つまり「根本的な考え方や仕組みの大転換」と考える)とわかりやすいです。

中国で発展した禅宗は、経典中心主義に異を唱えました。達磨(ボーディダルマ)は、文字や理論に頼るのではなく、瞑想や師弟間の直接的な対話を通じて悟りを得る道を説きました。この教えは、日本では道元をはじめ、臨済によって武士階級や庶民にも広まり、現実的で実践的な仏教の形を確立しました。禅宗は仏教を日常生活の中で実践する意義を示し、「生きた仏教」とし

にあって大きな混乱をもたらしましたが、最終的には仏教の進化に寄与し、現代の私たちに多くの示唆を与えています。ここでは、仏教史における代表的なパラダイムシフトを5つ取り上げ、それが仏教界にもたらした事実と現代への示唆について考察します。

1 大乘仏教の誕生 普遍的救済の理念
紀元前3世紀の部派仏教時代、仏教は個人への解脱を目的とした修行を中心に据えていました。しかし、ナーガールジュナ(龍樹)は「空の思想」をもとに、大乘仏教の新たな価値観を打ち立てました。それは、全ての人々を救済する「菩薩道」の実践です。この転換によって、仏教は個人の修行を超え、社会全体に普及する道を開きました。この理念は、仏教を一部の出家者だけのものではなく、万人が恩恵を受ける宗教へと昇華させました。

2 禅宗の実践主義 経典から行動へ
中国で発展した禅宗は、経典中心主義に異を唱えました。達磨(ボーディダルマ)は、文字や理論に頼るのではなく、瞑想や師弟間の直接的な対話を通じて悟りを得る道を説きました。この教えは、日本では道元をはじめ、臨済によって武士階級や庶民にも広まり、現実的で実践的な仏教の形を確立しました。禅宗は仏教を日常生活の中で実践する意義を示し、「生きた仏教」とし

3 密教 視覚と儀礼の宗教
密教の登場は、仏教に神秘性と現世利益を加えました。特に空海が日本にもたらした真言密教は、曼荼羅や儀式を通じて仏と人間のつながりを強調しました。この視覚的・儀礼的要素は、庶民や貴族の間で仏教を広めるのに大きく貢献しました。密教は単なる哲学ではなく、人々の心をつかむ芸術的で実践的な仏教として発展しました。

4 浄土宗 救済の平等主義
日本の平安時代、法然が始めた浄土宗は、「南無阿彌陀仏」という念仏だけで救われるという平等主義を提唱しました。親鸞の「悪人正機説」はさらにこの思想を深化させ、どんな人でも救われる可能性がある、と説きました。この教えは、修行や学問に縁のなかった庶民にも仏教の扉を開き、仏教の大衆化を進める大きな原動力となりました。

5 日蓮宗 個人信仰と社会運動
鎌倉時代に日蓮は、唯一の真理として「法華経」を掲げ、「南無妙法蓮華経」の唱題を中心としました。日蓮の活動は庶民への積極的な布教と社会批判を伴い、仏教が個人の精神的支柱としてだけでなく、社会運動や改革の一翼を担う可能性を示しました。彼の思

6 宗派を超えた協力の必要性
さらに重要なのは、仏教界全体が宗派の枠を超えて協力し、社会参加を果たしていく

想は、日本の宗教文化や社会運動に長い影響を及ぼしました。

執筆一終懸(ひらきいこい) 一九六四年生まれ。筑波大学卒業後、出版社数社を経て独立。ライター兼編集者として、書籍、雑誌の制作に携わっている。

編集後記

藤木隆宣

この原稿を書いているのは1月27日(月)の早朝。本誌の編集後記は私の担当なので読者諸氏には申し訳ないが、お付き合いを頂いている。

12月26日は世田谷区北沢にある本務地小庵「永正寺」で餅つき会があった。都会地なのでスタッフがそろるか心配していたが、ボランティアで「永正寺こどもおとな食堂」のメンバーの石川さんがシモキタ商店街にメールで協力をお願いしたところ、振興組合理事長の長沼さんからご連絡があり、説明を聞きたいとのことで早速お会いしてお願いしたところ、下北沢商店街にはいくつかの商店街があり、理事長が声をかけてくださり、餅つき会は100名を超える方々のご参加があり無事終わった。永正寺の餅つき会は4回目です。まだまだ至らないことがあり反省会でもご意見が出て来年に生かすことにな

つた。

1月5日(日)は午前8時から永正寺の坐禅会の日、第1日曜日が定例になっている。いつもは4人〜5人なのでそのつもりでいたら、午前8時前に6人の新しい方が参加されて慌てた。狭い本堂でとにかく坐れるようにした。まずは坐禅の仕方を簡単に説明、後は慣れてほしいとお願います。そして曹洞宗では椅子坐禅も認められているのでその説明もする。

まずは20分の坐禅、経行、2回目の坐禅20分、後曹洞宗宗務庁から出ている「坐禅作法・食事作法」を参考にしながら、その意味を話す。その後曹洞宗の開祖道元禅師、広められた瑩山禅師、永平寺、總持寺の両本山のことなどを説明して、全員で「修証義」第1章総序を読み、仏教企画から発行されている『修証義 読本・生老病死―運命をどう

生きる』を参考にしながらお経を読む意味などを説明し1時間20分ぐらいの時間を過ごす。

次にいつものように私が用意したおかげと簡単な精進料理を「五観の偈」を唱えて頂く。いつもの人数しか用意していなかったのですが、足りなかったのですが全員が少しづつ分けて頂いた。参加の理由を聞くところ、ヨガをやっておられるようでその関心からHPを見て来られたようだった。いづれも都内の方たちだった。

10日は相模原市緑区城山にある分院日庭寺の定例の写経写仏の日で、この会はいづれの方々が先生を含めて6人の参加であった。写経写仏の会では永正寺でも同じ流れがあり、ご本尊に礼拝と般若心経もしくは修証義を誦することから始まる。1月は新年なのでお経中にご焼香をしていただく。その後1時間30分写経もしくは写仏三昧の時間になる。終わってお茶を頂きながらの茶話会になる。この日はおひ

とり87歳の男性の方の初参加があった。レストランを経営されている娘さんが連れて来られ横浜市に住んでいたが、娘さんが引き取り一緒に住んでいるとのことだった。足元もすっかりしておられ、よくお話になられるので続けて来られればいいなと思った次第。宗教法人曹洞宗が抱えている様々な課題は待たないでいる。①は寺院の後継者問題がある。②は寺院を支える方々の数が激減していくこと。③は曹洞宗の組織を今後どう展開するかなどであり、一言でかたづけられない大問題ばかりである。宗門の一部の人たちで議論するのはなく宗門一人一人の多くのご意見が反映される方策がないかである。各県の宗務所で議論して頂いた見解を宗務庁に集計してその中から対策が講じられないかとか曹洞宗青年会の方々のご意見が反映されないかである。

今後は青年僧にゆだねなければいけない案件でもあるか

藤木隆宣九拝

2025夏・お盆 特集予告

2025年5月31日 発刊予定
曹洞禅グラフ

173号

見えない壁だって、越えられる。

NPO法人モンキーマジック代表・パラクライマー
小林幸一郎さん(視覚障害)インタビュー

小林幸一郎
こばやし こういちろう
1968年東京都に生まれ16歳でフリークライミングに出会う。28歳で網膜色素変性症の診断を受け、その後光を失うが、パラクライミングの世界選手権など国内外の多くの大会で優勝し、55歳で現役を引退。選手として活躍していた37歳の時に障害者クライミングの普及活動を推し進めるNPO法人モンキーマジックを設立。障害者と晴眼者がともに活動することで、多様性を認めあえるより成熟した「真のユニバーサル社会」を実現させることを目的に活動している。

手まり学園

寄附者御芳名(敬称略)

R6.10.4~R6.12.12

所在地	寺院名(個人名)	金額
静岡県	龍雲寺	5,000
秋田県	円通寺	10,000
神奈川県	宗泉寺	10,000
群馬県	祥雲寺	10,000
東京都	篠原東一	10,000
東京都	高崎宗倫	100,000
神奈川県	青木義次(133)	5,000
神奈川県	青木義次(134)	5,000
鳥取県	林泉寺	10,000
岩手県	大光寺	10,000
山口県	久屋寺	10,000
合計		185,000

てまり学園にご支援をいただき誠にありがとうございます。

仏教企画発行の刊行物

(★部数により割引があります) すべて税別価格です

- 『修証義』解説 丸山劫外著 1,400円★
- 『まんが問答一期一話』 文 平和宏昭 まんが 垣内敬遠 1,200円★
- 『葬送のしおり』 長井龍道著 30円
- 修証義読本『生老病死』 須田道輝著 500円★
- 『曹洞宗檀信徒經典』 須田道輝解説 300円★
- 曹洞宗檀信徒必読『供養のすべて』 霊元丈法著 140円★
- 曹洞宗檀信徒必読『葬儀のすべて』 霊元丈法著 150円★
- 俳句随想 玉崎千鶴子 その永遠の世界を探って 500円
- 『観音の咒 大悲心陀羅尼』 渡辺章悟著 500円
- 『宗教人類学の地平』 佐々木宏幹編著 2,300円
- 『仏教人類学の諸相』 佐々木宏幹著 2,300円

*『仏教企画通信』を10部以上購読希望の方は一部100円で頒布致します。同封はがきの空欄にその旨をお書きください。(消費税、送料別)

お申込み

〒252-0116 神奈川県相模原市緑区城山4-2-5
TEL: 042-703-8641 FAX: 042-782-5117 Email: fujiki@water.ocn.ne.jp

仏教企画

※ご寺院名後の番号(3桁もしくは4桁)がお客番号(コード)になります。お申込みは ①ご寺院名 ②お客番号 ③電話番号でも可能です。

曹洞禅グラフ

発行日

春 彼岸号	2月10日
夏 お盆号	5月31日
秋 彼岸号	8月20日
冬 正月号	10月31日
1部 200円	
9部以下	200円
10部以上	150円に割引
20部以上	135円に割引
50部以上	130円に割引
100部以上	120円に割引
200部以上	110円に割引
300部以上	100円に割引
500部以上	90円に割引